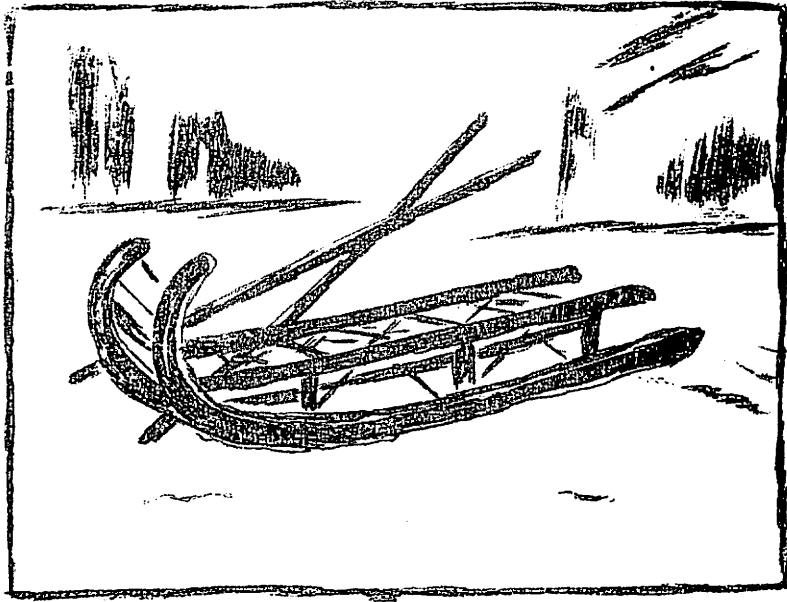


# 部 報

II



北海道大学馬術部

# 新年度の抱負

主将 樋口正明

宮沢前主将よりバトンを引きついで以来早くも二月をもちょうやらの運営という名のめりかけ一応計画だけは色々と思ひ出しに次才です。先ず新軍交代員を紹介します。

氏名	学部	出身校
主将 樋口正明	法三	東京新宿高
副将 渡辺俊弘	工三	夕張北高
マネージャー 生田勝一	至二	新津高
飼育 伊藤亮	獣三	一関一高
会計 千葉幹夫	二	
会 今田 哲		
療務 佐伯雄二		
森本祥二		
田中紀介		

今耳は馬術部復活五周年にあたり十月 日さ、マカ女が先輩現役をまじ之祝賀会を行ひ昔の馬術部

の枚子色々を知事が出来て実に有意義でした。今後ますます先輩と現役との間に親密にして馬術部の健全な発展をはかりたいと思つて居ますので皆様の力を頼みます。

私が北大に入り馬術を始め、以来常に思つてゐることは何故馬産地北海道の馬術が全国的にのみて振はなにかと、この二です。これは各が長く習が多し、この地方であるため良い指導者に恵まれ、この理由には種々あるとは思ひますが、これに対する方法が全然なはとは思はれませんが、そこで将来北海道を日本馬術界の中心地とすべく、少くともその基礎的地盤と作るべく、努力して行きたいと思つてゐます。そこでこれに対する具体的方法は何かと云うに先ず馬術に興味を持つ人を増加させる事即ち大衆の間に馬術というスポーツがしつかりと根を下す事であつて、貴族的なスポーツとして非近代的なスポーツとして特殊な目でみられるようでは在らぬのであります。これは岸日頃から馬車思想普及の爲努力することに、より実現されて行くのぞと思ひます。支持層が増せば自然愛好者も増加するように在るでせう。先ず当初我々が目標とすべきはこの馬術に理解ある人を増すことにあるのだと確信してゐます。これは北大馬

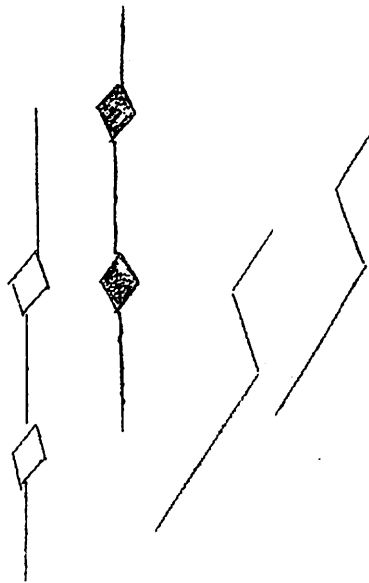
北海道のみの問題ではなく、北海道畜産の発展を期し、  
 ます、そこで先導諸氏、札幌畜産クラブ、帯広畜産  
 大学、札幌競馬場との連携を図り、及び個別飼養  
 母畜と協力し互いが少く、その前途して行き正し  
 と思つていきます。

又来年度は本州方面に於て出来るだけ多くの対外試  
 合をすることによつて至驗をのみ実力を養ひ、馬産地  
 北海道の実力を遺憾なく發揮すべく計画をたててい  
 ます。

来年度の主な行事日程

- 一月上旬 冬期合宿
- 四月上旬 全国学生指導者講習会に参加(東京)
- 五月上旬 春期合宿
- 〃 〃 春期牧場見学
- 〃 中旬 対帯広畜産大春期定期戦(札幌)
- 〃 下旬 東日本馬術大会(東京)
- 六月中旬 北海道大会
- 〃 下旬 東北、北海道大会(札幌)
- 〃 〃 対東北大学定期戦(リリ)
- 七月中旬 国立七大学定期戦(山合)
- 〃 〃 札幌地区親善リーグ
- 下旬 夏期合宿

- 八月下旬 夏期合宿
- 九月上旬 北海道団体選手権大会
- 〃 〃 北海道学生馬術選手権大会
- 〃 〃 対帯広畜産大秋期定期戦
- 〃 〃 国民体育大会
- 〃 〃 全日本選手権大会
- 十月上旬
- 十月下旬



# 生きものの記録

## 自馬六頭の飼養状況報告

飼育係 千葉幹夫

飼育日誌抜粋

九月十日 飼育計画作成、左の如し

年間燕麦総量 二四三俵

年間乾草総量 十トン半

〃 寝ワラ 十二山

※燕麦はシーズン中日量最高六升、シーズン外は三升とし、乾草は冬期間だけ枚草に用い全期を通じて切わらとして用うることにする。

オ一養場より朝清、草運を借りる事に決定。

九月十五日

北斗週削により右後肢跛行、蹄鉄をはずし、冷湿布を被す。北斗、北谷、北潭、国体出場決定し以後特殊馬とす。

九月二十五日

北斗装蹄す。

九月二十九、三十日

越冬準備の爲作業を行ふ。乾草二山、寝わら三山運搬す。

十月五日

北榆、達運に蹴らる。外傷約五種、跛行せず

十月六日

右前冠膝頭着とせる、冷湿布を行ふ。

十月八日

特殊馬燕麦と七升五合に増量す。他馬は四升五合に減量す。全馬下痢がみとなる。トオキビのせいと慰はれる。

十月十七日

北潭、養馬場にて特殊中馬鞍し跛行す。

十月十八日

北潭通鞍、左前肢腱鞘炎、右前肢冠膝と診断さる。

金治二ヶ月との事。

十月十九日

困体へ出発、火斗、火峯、飯斗を祈る。

十月二十三日

火潭の前肢交互に腫脹す。冷湿布と絞ける以外に療  
法なしとの事。蒸考日置四升に減量す。近頃運動量  
二時間位となる。

十月三十日

火潭回復著し、跛行認められず。蛔蟲煮にて軽い速  
歩どゆる。

十一月五日

再び火潭左前肢、熱感あり腫脹す。安静と冷湿作の  
要あり。火潭のみ蒸考日置三升に減量す。

十一月九日

夜中十二時頃火斗、火峯歸す。

十一月十一日

火峯、咽喉カタルと診断さる。火斗、立ち腫れひど  
し、当分の間、両馬とも運動量減じ、疲労回復につ  
とめる。火峯毎日通院の要あり。本耳交最後の作業  
と行ハ減量準備完了す。旬苦勞杯でした。

九月以降自馬大頭の飼養係としてつたが、見当の

つたぬま、どうく、冬を過えてしまつた。今年以後  
期合宿で養草をあげたので、越々準備は割合スムー  
ズにいった。冬になる前に十舎の戸を修理したいと  
思つたのに仲々ま、なやめさの中ですわい。

これからは飼育ノートを用意したので正確な記録を  
取つて色々改善すべき矣を見つけて行きたいと思つ  
部員の飼育の癖のリング、トウキビ等心胆を碎いた  
事はひと分をならぬ右のであつた。

# 日高遠足

一年 田中紀介

文化の日と日曜日の連休を利用し、部では英習と  
かねて日高牧場を見学した。三日朝四時の汽車に乘  
るべく早く起きた部員は千代線の車中ではまだ睡  
気だといわずいつになく(？)温和しかつた。苫占牧場  
一時同近く待ち合せて混雑した日高線に乗つてがや  
めて座れて窓外の景色も落着いて見れるようにする  
と、右半は蒸気色の海岸に太平洋の濁つたうねり、  
左手は玄冥たる湿気帯で時々中半、軽半馬が放牧さ

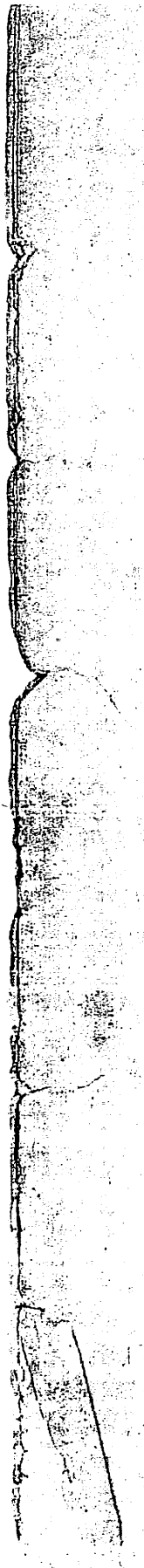
れているのが現れる。例によつて、君がトランスを  
持ち出せば、此方では将棋で二年生が三年生をいじ  
めてゐる。それを駒の動きも知らなひ一年生が口を  
出す。十二時静内駅に着く。先輩下飯坂さんが出迎  
えてくれてバスに乗つた。

我々は本当にこれ以上の美しさはあるまいと思は  
れるほどの素晴らしい景色の中を通つて行つた。右側  
はシベキヤリ川で左側は山手であるが両側至る所紅  
葉して実に綺麗だ。ロマンチストの諸氏は只感嘆す  
るばかりだつた。一時同近く乗つて切符を十三枚買  
つて、御園で降りると我々は紅葉の真只中にあつて戻  
るまいのに葉が次々に降つてくる美しさ。少し急な  
坂を登りきるとすぐ日高牧場の入口で今交は真直な  
道が横に曲がっている。まだ緑色の喬木並木を映画に出  
くるようなシーンだ。遠くは層松林に絞つて燃える  
ような山。皆スゴイ／＼の連発。天皇陛下の泊つ  
た所を横にみて牛舎蔵舎の間をぬいぬい牧場に出る  
とアラ、サラが美しい容体を見せて草を食つてゐる  
皆よく肥つてゐる。こんな広い場所を走らせたら気  
持が良いだろうなあ等とみんな口をぬいた。当地才  
出身の郎頭に日高は寒いと聞かされて厚着をして来  
た諸氏は思ひもよらぬに暑さにフーフー、全く汗は

天気がつた。うしろの才では複雑な合唱が始まつて  
皆楽しそう。

長持の良い宿舎は我々一行を日の丸をもちて歓迎  
してくれた。すぐに待つていた昼飯がでた。ライス  
カレットである、ところがそのカレシが十三人分あつて  
それでしかも一人分足りなひ「オイ誰だアタタメて  
いるのは」変だよ算えてみようか、あつ十四人居  
るし!! マネージャー車中で人数算之のとき御自分  
を勘定に入れなかつたらしい。車算もポコイネとは  
皆の語。ともかくウマかつたです。

食後睡魔(?) W君と絵の具を持って出かけたS君  
を除いて皆馬に乗してもつた。馬は道産馬の血の  
混つた小型で手入れをしないので乗れるとは夢の枕を  
語。広い野原を走つたが今に駈け出す長持の爽快さ。皆もう  
うれしくてたまらぬ表情だつたが中に一人の御仁小  
川を渡る時川底の石に滑つた外馬が転んでザンズと  
投げ出され背を濡らしたのはほんとう長持の毒であ  
つた。下飯坂さんを囲んで記念写真を取る。画伯(?)  
の絵も出来上つて皆楽しく指合に帰る。あたりの山  
は夕陽に映えてますます美しく見事だつた。夜は下  
飯坂さんを囲んで談笑、種々互写真を見せていたた  
き大いに参考になつた。



四日、成合見学種馬の屋敷で貰った。朝着の夕更  
 口を面会する。是後乗馬が乗れる種馬屋の子にそつ  
 リド。生憎雨が降って来たが、遊走馬の種馬に乗せ  
 てもらった。反動が強く乗る易いが其の外云々  
 幸てきかず大郎手古槽にされたが全買乗事に済んだ  
 秋牧中のアラ、サヲ君達と写真で撮り互に日高での  
 愛い納めをする

僅外二日間だった本当に楽しかった。皆さう二  
 三日居たいと云るけどそれが出来ず、雨の中  
 とジーフの中へもう一夜来るぞと美しい山  
 と見送りながら名残り惜しい日高を去った。(丁記)  
 先輩下飯坂さんには大変お世話になりました。厚  
 く感謝致します。



## 編集後記

○いつもの事ながら乗稿取りには手をやい  
 三。ゆえりうるさく回つたので居留守を  
 使う部員まで出る始末、しかもこの不出  
 末にお詫かする次第。

○四耳生は既に故づけで呼ばれるがこの外  
 大坪級になるとボコくなる。手紙に切手  
 をはらずに出したりシヤシンミワゴムで  
 巻いてポストに入れたり、このようほち  
 のを受けとった方はぜひ御注意下された  
 し。

○外の部が軒をみ未字のダンスパーティーに  
 莫大収入を得た。部員一同アゴをなで  
 て「ヤハリ馬背部は……」ニヤリ  
 ○今年の四年生は部内の行事に新しい試み  
 を数々取り入れてくれて一年同業しくく  
 らすことができました。遠足と外遠乗と  
 か、ふたつ外乗のオヤツゼチーフが買  
 買懐を休つたのはイカンですナア

# 前年回顧録

前主将 宮沢寛

とにかく第百畜大にはテットオテツビやられ  
定期戦、東北、北海道、全道馬術大障、北海道  
選手権等、先ずケチのつきはじめは定期戦。バ  
スは畜大のために大いにゆれて我々をいためつ  
けるし、帯広の天辰までシリ／＼廻りつけて我  
々の頭をボケさせるという工合、それかあらぬ  
外畜大は強かった。いや我々の弱さ故かちね  
ん。実際我々は過去三連勝の記録をみてちよつ  
となめてかかっていた。これは事実だ。その結  
果がとておシオカラかった。これはいかんとい  
うのである。直して先ず中央の試合に初参  
加のり込んだ。これが又いけなかつた。そこ  
でこれでは先輩に申訳ない。後輩に示しがつ  
かんと腰をぐつと低くすえて最高の目標である旧  
七帝大戦を最低の義務と決めた。こうなると連  
敗の選手五人、血眼になつて練習にはげんだ。

こゝまで落ちるとオリンピック精神はよくそく  
らえ、参加することより勝つためが先、つまり  
少々頭に来た。教授の顔を見て馬の顔に見え  
る。つまりそれほど授業をさぼつたので教官の  
顔も忘れたいということ。その故に苦悶して外  
俾に勝利の宴のシンギスキャンはうまかつた。シ  
ョーチキも又甘盛。

今から考之ても本当に感激した。純銀の東大杯  
宮杯に先輩の祝いビールと満ちて回し飲んだ  
時丘には涼台よだれも鼻水を×チヤクチヤとあ  
ふれて来て最後の選手が腹一杯に飲み込んだ後  
にも液体が杯からあふれればかりであつたと云  
う。とにかく勝つた。しかし冷静になつて考之  
てみると、昔は七帝大戦に勝つことなど及びな  
つかぬことであつたといふから、たしかに偉大  
なことにしたのであるはずなのにどうも影がうすい。  
左様去年の先輩が偉すぎた。勝すぎた。我々が  
こゝにムキにならなけりやならなかつたのは  
彼等のせいである。実に恨み骨髄に敵す。だが  
待てよ、我々は少くとも来年、再来年と感謝さ  
れるにちがいない。



# 馬

# 術

# 部

一頁 森本悌二

小さい時から動物が好きで、馬に乗ったのは学校の修学旅行の時や友達と一緒に旅行する時、観光地によくある貸馬に乗っただけである。あるとき他の人が誰も乗らないのに、自分だけ乗り乗った拍子に馬が走り出して、早く手綱を引いても止らず馬上で固くなつて、後で体中が痛くなり熱を出して二三日寝た。こゝを覚えてゐる。だから漠然と馬に乗る事に憧れてゐた。北大を受験するとき友達に北海道まで何のために行くのだと云はれたとき、馬に乗るために行くのだと云つたことがある。

偶然長谷川邦君も馬術部に入りたいと云うので、二人で入学式の当日本部の横のグラウンドで行はれた馬術部のデモンストレーションとポスターとにつづられて入ったのである。

その翌日であつたが、馬術部の部屋に行くとき榎本先輩が新入部員の心得や部の内容や部員としての義務等を親切に教へてくれたが、今まで考へてゐたことが、余りに簡単にすぎたのに驚いたと同時にこ

んをむかふといふことが自分に出るからどうも疑問で持つてゐる。それがし、それは新しいものには付する。最近の事あることに後になつて判つた。勿論作業も当務もつらひし。幾らかの失望もあつた。しかしそれ以上上級生の上手に乗るのを確信飛越を見て興奮さどらへて、途中でやめる人がいたけれど、今まで乗つて来たてゐる。

馬術部に入部して馬に乗るといふ私の希望は満足させられたけれど、私に利益があつたのはそれだけではない。憧れてゐた大学の諸義は二三の例外はあるが、どれも自分に興味を持たせるものはない。すると自然と足が向くのは部室である。そこには気がおけふい人達がゐる。又馬場には自分に叱咤してくれる先輩がゐる。このように私にとつて馬術部はもはや単なる部ではなくなつたのである。だから私は大いに馬に乗り、そしてこの大学に於ける馬術部生活が私の人生記の意義ある一ページとするように努力する積りである。



# 財政面に於ける不定時収益に關して

マネーシュー 生の勝一

我が北大馬術部も本軍創部以来三十余年、戦行復  
活五周年を迎え、自馬繁養六頭と云う恵まれた條件  
の下に愈々充実発展の一途を辿りつつある。これは  
一人我々が喜びとするばかりではなく北海道馬術界  
ひいては日本馬術界の榮華とする所ではなからうか  
と曰項思つてゐる次才である。昭和二十六年の部再  
興、二十九年の自馬購入、それに附随する厩舎部室  
の完備率々の所謂創業期に於ける諸々の艱難辛苦を  
経てここに愛國なる基礎も出来上り、部活動も安定  
した軌跡に乗って運営されつつある現状であるが、  
この先輩諸氏の多大なる御盡力を思ふ時、我々は唯  
感謝の念に堪えないのである。我々昭和三十一年入  
部々買は率にしてこの様な苦勞を味わずに済んだゆ  
けであるが、しかし我が部の充実と共に年々部員数も  
増加し対外公式戦、諸行事が多くなるに従つて部の  
運営面に、財政面に前にも増して負担なる種々の課  
題が生じてくるのである。

扱つて部の運営に當つて財政面特に資金調達と云ふこ  
とが重要な位置を占めることは云うまでもないこと  
で、例へば我が部の躍進の過程を辿る一つの証左と  
して部費及び入部金額の変遷を見るに部復活の年昭  
和二十六年に入部金二百円、部費百円、二十七入  
部金二百円、部費百五十円、三十一年入部金三百円、  
部費二百円となつてゐるのである。収入面のうちこ  
の部費及び入部費が定時収入となり飼育費、経費費  
、備品馬具整備費、庶務事務費、その他雑費を賚つ  
てゐるわけである。(尤も飼育費の大部分はオ一機  
場の援助によるのであるが)収入面には右の外に本  
大の主題である予定時収益金がある。これは主に諸  
遠征費補助金及び臨時の支出に当てられるわけであ  
るがその収益源は主としてダンスパーテイ利益金、  
自馬食料謝礼金、及び僅少ながら北大体育会からの  
援助費から成つてゐる。戦前には想像もつかないか  
たであらう所のダンスパーテイを主としてその収益

金と運任費の定しどし始めは昭和二十七年八月  
までの後どの才題に夫々の才腕を振った大久保先輩  
(現運印)の力により重要な収入源となるに至つた  
のである。しかしダンスパーティーを主催し相当の收  
益をあげんとするには期日前約一ヶ月間の準備及び  
当日に於けるそれ相応の少なからぬ努力が必至であ  
る。先ず学校当局に集會届出せし証明書を下附され  
て会場の交渉に当る。我が部では從來殆んど札幌市  
の産業会館とその会場に使用してゐる。一競いて演  
奏バンドとの交渉を始め次いでポスター及び前売券  
の印刷を行い、前売券は石狩支庁税務課の検印を受  
け部員全員がその売り捌きに当る。ポスターは枚力  
してこれを市中に貼りまく。以上で大体の準備完了  
であるが、その資本金として約二万円から三万円が  
必要となる。扱て愈々当日は部員総出で会場の整備  
に従事し最も重要なる任務として下足番、及び手荷  
物一時預り(通称箱番)をせねばならない。  
半やかな舞台の裏にかけられた線の下の力持である。  
増収に努力を重ねて入手した売上金のうちその三十  
三パーセントと云う手痛い遊興娛樂税を国家に貢納  
して残つた金額が部の収益金となるのである。ここ  
、本年のパーティーの状況を見る。月二十一日約一

万六千円、二十一日約一万円、三日二十一日五  
千円の収益となつてゐる。多大な努力に代つて何と  
その報償の少きことよ。次にこれより資金と努力を  
必要としなば収益源にオニにあげた自賠費等の謝収  
金(通称アルバイト)がある。市内の商店、映画館  
等の宣伝を請負ひ愛蔵のエネルギー消耗に對して出  
される謝収金を特別収入に加之するわけである。甚だ  
芳しからざることであり遺憾とする所であるが現状  
では止むを得ない。人馬一組で二万円が相場である  
がそのうち大体五百円位がアルバイト提供の部員に  
支給されるので部員の不定時収入ともなる。斯林な  
宣伝、請負は昨年七月に行つた映画「幻の馬」  
の宣伝を以つて初めとする。今年のアムバイト状況  
を見るに六月十二日「狸小路大売出し」の宣伝で一  
万三千円、九月十九日は映画「夕日拳銃」の宣伝で  
七千五百円、又十月二十一日には札幌専門右協会  
「大名大売出し」宣伝で六千円の臨時収益がある。  
以上の二つが我が部の不定時収益の源泉となつてい  
る次であるがしかし斯林なことは決して奨励すべ  
きことではなはし、又「ダンスパーティー」の馬術部が  
あまり有名になつても困ることになる。しかし資金  
面の苦勞は次々に切れてくるであらうし、これが

ハ後賤政面に照与する者に課せらるる重要な課題 能なる才子の現るるを切に念願する次第である。  
 以上

# 馬術部名簿

部 長	氏 名	住 所	勤 務 地
永井 一夫	高松 正信	東京都中野区昭和通り三丁目二十九番地田中	北 大
高松 正信	高松 正信	東京都中野区昭和通り三丁目二十九番地田中	北 大
塚沢 亮助	塚沢 亮助	札幌市北一条西二丁目	北 大
太秦 康光	太秦 康光	札幌市南一条西二丁目	北 大
新 輩	氏 名	学 部 住 所	勤 務 地
四 年 友	中野友二郎	豊 新潟県高田市南條町一丁目三三	県立新井高
五	真鍋 雅彦	畜二 長崎県諫早市京口町六七五	長崎市役所
	平山 常介		
	岡 克市	浦河郡浦河町西舎官舎	農林省日高種畜牧場
	松本 久喜	畜一 札幌市南九條西二十丁目	北 大
	三谷 秋三	東京都八王子市高倉町一ノ五五三	日本中央競馬会
	岩垣 秋夫	園芸 福島縣信夫郡平堅村	福島縣園芸試験場
	永松 四郎	畜一 東京都世田谷区松葉三ノ八〇二	高沢製紙C、LTD
	武田 朝男	" 仙台市荒巻台ノ乗下六ノ一	東北私産社
七	半沢 道郎	農林 札幌市北大條西一二丁目	北 大

八早友	田畑 武夫	農	札幌市南五條西一丁目
九	東國 基文 <small>札幌市南區</small>	農	東京都渋谷区木幡通二ノ二三
〇	久榮 昇	畜二	兵庫真野郡那城北村那家八七五ノ一
一	高杉 直朝	理化	札幌市北七條西一三丁目
二	小笠原 義顯	農化	名古屋市中種区清住町二丁目三五
	脇田代子郎	農化	
	大迫 明德	農化	
	吉見 一郎	農經	札幌市苗穂町三六
三	滋賀 秀明	医	
	森山 武雄	医	
三	前堅 正久	農化	東京都目黒区森永乳業研究所内
	石井 昌長	農化	茨城県石岡市元真敷二七三
	小林 達夫	農生	岡山縣
	前川 靜殊	理化	室蘭市茶津町社宅番外六号
	楠本 勝登	農經	大阪府八尾市西通南二丁目社宅四〇六号
	高井 久芳	畜一	稚内市
	山下 正亮	畜二	札幌郡高松字輪厚
	松平 悌	農学	東京都渋谷区景江町五六
一四	池内 武夫	畜二	東京都板橋区三ノ六三四七
	小田 昇	畜二	靜岡縣熱海市伊豆山一八二
一五	西村 雅吉	理化	札幌市南二一條西一一丁目

義宮伝音館  
 兵庫農大  
 北大  
 日本電気大建工場  
 モリタ下化成四日市工場  
 雪印乳業  
 森永乳業研究所  
 東京通商産業局石岡下ルコイル工場  
 岡山大学理学部  
 日鋼  
 人華院大阪地方事務所  
 北海道栄谷支庁拓殖課  
 農林家畜診療所  
 日本麥酒日原工場  
 日本中央産屬会  
 北大

一五	菅岡 威	畜二	札幌市南三條西二四丁目
	中尾 敦司	工鉸	
	木谷 濱喜貞	農実	金沢市古幸町
一六	石井 和彦	畜二	蕪取市湯所八住宅一一号
	秋吉 康忠	農林	高知縣安芸郡魚梁瀬村
	福光 幸彦	医	札幌市南七條西四丁目
	崎 義人		
	半沢 敏	工技	札幌市北大條西十二丁目
	高木 史朗	工鉸	茨城県茨城郡川根村
	伊野 俊郎	工鉸	
	藤沢 光	農実	河東郡士幌村字中士幌
	河原 清作	工土	小樽市忍路郡塩谷村
一七	山根 之彦	畜二	蕪取立川町二丁目泉盛アパート一号室
	岡田 光夫	工土	札幌市南七條西二三丁目
	蛸崎 愛男		横浜市南區永田町三七五
	中曾根 賢	農実	札幌市菊水上町四六
	白取 善三	農実	青森県南郡石川町築師堂
一八	大戸 進	林	空知郡砂川町北本町三井木材社宅
	平井 宏和	工	
	稻葉 恵一	農化	大阪府高槻市南園町三一七
一九	福岡 邦泰	農	札幌市北二條西一丁目

蜜印乳業  
 日本三葉吉元鉸業所(秋田縣雄勝郡 西本郷村)  
 蕪取大学  
 魚梁瀬農林署長  
 福光小児科  
 北大  
 川根中学  
 北斗産業  
 蕪取大学  
 札幌市役所  
 農林省神奈川食糧事務所  
 北海道庁農務部畜産課②一六四  
 三井木材砂川工場  
 日本油脂  
 道庁内総合開発







三

二

一

林	耕種	夏
柴田	久男	工
伊藤	亮	工
栗林	東	工
乾	直道	理
興津	銀子	理
松田	彬	医
山本	留	大
酒井	直己	理
生田	勝一	經
干葉	幹夫	獸
村山	悟	經
中村	美幸	經
土井	敦	畜
今田	哲	農
浅野	亮	法
齊藤	靖士	文
坂辺	俊彦	農
岸	恵子	医
佐伯	雄二	理
門余	駿	医

札幌市南九条西五丁目

札幌市北十四條西二丁目北半條

札幌市北十六條西八丁目檢影寮

札幌市北十四條西十四丁目吉田方

札幌市北二十條西六丁目三津橋方

札幌市北二十條東三丁目齊藤方

札幌市北十四條西十四丁目三十一番地

札幌市南八條西二十二丁目

札幌市北十三條西四丁目山田方

恵迪寮

札幌市北八條西四丁目藏齋寮

札幌市北八條西四丁目

札幌市南二十一條西二十一丁目

札幌市北五條西九丁目青年寄宿舎

札幌市北十五條西五丁目北大文化センター

札幌市北十四條西五丁目

恵迪寮

札幌市北十六條西三丁目齊藤方

札幌市北八條西五北檢並

北二十條西五丁目石川方

恵迪寮

三石郡三石町

空知郡三笠町善松薄住五十四号

新潟縣新津市東善道

小樽市砂留町三番地

靜岡縣濱松市東区伊佐布

神奈川縣大磯町東小磯三五六

靜岡縣三島市谷田坂ノ内

旭川市宮下通二十四丁目

岩手縣胆沢郡前沢町

京都府舞鶴市宇高崎

兵庫縣西宮市中東園二ノ八五

岩手縣大船渡市末崎町

旭川市一条十六丁目三三三

函館市柏木町一七二

余市町大川町

奈良縣橿原市山文坊

横須賀市追浜町二ノ一九

半

田中 經介	町田 和一	森本 勝次	栗津 健太郎	林 久子	美濃部 明子	小長谷 善高	片山 静子	川田 經子
-------	-------	-------	--------	------	--------	--------	-------	-------

理類	文類	理類	水産	水産	文類	水産	文類	文類
----	----	----	----	----	----	----	----	----

恵進寮	恵進寮	札幌市北十八条西五丁目長谷川方	札幌市南一条西十七丁目	札幌市北八条西一丁目北榆莊	札幌市北二十一条西五十丁目	札幌市南五条西二十丁目平山方	札幌市北二条西二十三丁目	小樽市石山町五十
-----	-----	-----------------	-------------	---------------	---------------	----------------	--------------	----------

札幌市

文類

札幌市北十八条西五十丁目

静岡縣清水市官代町六

静岡縣区七郡齋岡町入山類二七

東京都葛飾区奥平本町二三八四

東京都太田区田園調布四二二二

東京都太田区新宿四二二三石川方